

スズキ、新型「GSX-8T」、新型「GSX-8TT」を発表



新型「GSX-8T」



新型「GSX-8TT」

スズキは、7月4日にストリートバイク、新型「GSX-8T」、新型「GSX-8TT」を発表しました。2025年夏頃より、欧州、北米を中心に世界各国で順次販売を開始いたします。

新型「GSX-8T」、新型「GSX-8TT」は、スズキの過去の名車の個性的で魅力的な要素と現代的なデザインを融合させつつ、最新の技術やエンジン、車体を採用したネオレトロのストリートバイクです。スズキの過去のモデルで採用されていたクラシカルで特徴的なフラットボトムのライトに着想を得た丸形ヘッドライトや、スズキ初のハンドルバーエンドミラーを採用し、レトロを感じさせながらモダンな外観に仕上げました。一方、GSX-8S/Rで採用され高い評価を得ている776cm³のコンパクトなエンジンと高剛性なスチールフレーム、軽量なアルミスイングアームを組み合わせることで機敏性や快適性を高めています。

スズキドライブモードセレクター (SDMS) や電子制御スロットル、双方向クイックシフトなど、ライダーをアシストする電子制御システム「S.I.R.S.」や、軽量、コンパクトで信頼性が高く、低温時でも高い始動性を維持する ELIYY Power 製のリチウムイオンバッテリーを採用することで、幅広いユーザーが安心してスポーツライディングを楽しめるバイクです。

●新型「GSX-8T」

新型「GSX-8T」は1960年代の高性能ネイキッドバイクでTitanの愛称で知られるT500を彷彿とさせるデザインに仕上げました。車体後方をマットブラックにすることでタンクを際立たせるカラーリングを採用し、勝負球を意味するビリヤードのエイトボールをイメージした立体エンブレムをシュラウドに配置したレトロかつモダンなデザインとしました。

●新型「GSX-8TT」

新型「GSX-8TT」は、過去の名車を想起させるヘッドライトカウル、アンダーカウルを採用し、1970年代のロードレーサーをイメージしたデザインとしました。車体色は、ブラックのフロントフォークやシュラウド、グレーのシートレールなどを採用し上質で落ち着いた配色とすることで、ホイールやデカールのスポーティーなアクセントを際立たせたカラーリングとしました。車名の「TT」は、クラシックバイクを現代によみがえらせるという意味を込め、ベースモデルの「GSX-8T」と「Timeless」を掛け合わせたネーミングです。

●新型「GSX-8T」、新型「GSX-8TT」の主な装備と諸元（欧州仕様）

		GSX-8T/TT	概要
装備	S.I.R.S (スズキインテリジェント ライドシステム)	電子制御スロットル	
		SDMS (スズキドライブモードセクター)	出力特性を3つの中から選択可能
		トラクションコントロール (3モード+OFF)	リヤホイールの空転が感知された時に、 エンジン出力を制御
		双方向クイックシフトシステム	クラッチやスロットルを操作せずに シフトアップ/ダウンが可能
		スズキキーースタートシステム	ワンプッシュでエンジン始動が可能
		ローRPMアシスト	スムーズな発進を補助
	ホイール	キャストホイール	

諸元	全長(mm)	2,115
	全幅(mm)	775
	全高(mm)	1,105
	ホイールベース(mm)	1,465
	最低地上高(mm)	145
	シート高(mm)	T: 815 / TT:810
	装備重量(kg)	T: 201 / TT: 203
	タイヤ(前)	120/70ZR17M/C チューブレス
	タイヤ(後)	180/55ZR17M/C チューブレス
	エンジン型式	776cm ³ 水冷4サイクル 直列2気筒DOHCエンジン
	タンク容量(L)	16.5
	燃費(km/L)	23.8 (WMTC)
	CO ₂ 排出量(g/km)	99